

VI 生涯学習課

1 庶務係

蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	松 本 正 美
副 委 員 長	神 田 雅 彦
委 員	立 木 正 志
委 員	今 井 雅 良
委 員	木 下 眞 吾
委 員	山 田 久 子
委 員	岸 幸 雄
委 員	飯 田 數 義
委 員	伊 藤 清 敏
委 員	加 藤 俊 男
委 員	鈴 木 修

(敬称略)

(1) 社会教育委員の活動状況

① 社会教育委員会議の開催状況

ア 社会教育委員会議の構成

(ア) 会議の種類 定例会 (年2回開催5月・11月)

(イ) 構 成 員 社会教育委員、教育長、教育部次長、
生涯学習課長、生涯学習課長補佐、図書館館長

② 会議の運営状況

平成27年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
平成27年5月29日 (定例会)	【協議事項】 1 平成26年度事業報告について ア 生涯学習課関係事業報告について イ 蟹江町図書館事業報告について 2 平成27年度事業計画について ア 生涯学習課関係事業計画について イ 蟹江町図書館事業計画について

開催日	議案・報告事項等
平成27年11月20日 (定例会)	【協議事項】 1 蟹江町社会教育委員の経過報告について 2 平成27年度事業経過報告について ア 生涯学習課関係事業報告について イ 蟹江町図書館事業報告について 3 平成28年度事業計画(案)について ア 生涯学習課関係事業計画(案)について イ 蟹江町図書館事業計画(案)について

2 生涯学習係

(1) 公民館事業

講座・各種教室の開催（平成27年度実績）

① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館		
	開催数	募集人員	参加数
羊毛フェルト	4回	20人	10人
カラーコーディネート講座	5回	20人	15人
フラダンス教室	5回	15人	15人

② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

〔点検・評価〕

中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を開設している。また、参加者に対するアンケート調査を実施し、今後も町民のニーズに応えられるような講座を開設していくことに努めていく。

(2) 家庭教育・人権教育

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
わくわく子育て教室	5回	20家族40人	12家族26人	蟹江中央公民館
親と子の料理教室	1回	16組32人	16組32人	蟹江中央公民館
オオクワガタを育てよう	1回	30家族60人	55家族124人	蟹江中央公民館
ちょこっと探検隊	1回	20組40人	9家族18人	愛知県防災航空隊 こども陶器博物館
親子キャンプ教室	1回	70人	17家族66人	愛知県設楽町 つぐ高原グリーンパーク

[点検・評価]

親と子の料理教室は、人気のキャラクターを題材にしたのが良かったため、申込者が多く抽選となった。今後もニーズにあったものを取り入れていくことが必要と思われる。

オオクワガタを育てようは、親子でオオクワガタを幼虫から成虫になるまで、観察しながら育て、親子の絆を強めることを目的とした講座で、予想を上回る参加がある。関心の高い事業であることが確認できた。

親子キャンプ教室については、24年度宇賀溪キャンプ場、25年度は朝明キャンプ場で事業を行った。26年度からは、つぐ高原グリーンパークで事業を行っている。申込者も多く抽選となっているが、毎年申込みされる方もあるため、事業内容を検討し、より良い事業を計画する必要がある。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども料理教室	2回	各24人	16人・9人	蟹江中央公民館
わんぱく料理教室	1回	24人	17人	蟹江中央公民館

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動をとることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

(開催日：平成28年1月10日(日) 対象者：424人 参加者：347人)

③ 青少年相談事業

青少年問題協議会専門委員による相談事業を毎月1回、中央公民館分館にて実施している。

④ 青少年健全育成運動

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年2回実施している。

〔点検・評価〕

教室での参加応募は、どちらも定員に達していないことから、今後とも町民のニーズに応じているか検討を要する。

成人式は、町外へ転出している方も出席できるよう、窓口を広げていることもあり、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し指導・育成する。

9部門 43団体 623人 補助金1,118,050円

② 蟹江町婦人会

婦人の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9支部 14,600世帯 補助金1,180,000円

③ 蟹江町小中学校PTA交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPTA活動に対し、交付金を交付し支援する。

7小中学校 2,898人 交付金1,324,020円

〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

- ・ 開催日 平成27年7月12日(日)
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館集会室

- 生涯学習文化交流会 ○西大海用神楽太鼓保存会
- 沖縄県読谷村琉球舞踊団体 入場者 435人
- ② 文化祭の開催
 - 町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。
 - ・ 開催日 平成27年11月7日(土)・8日(日)
 - 展示の部 1,991人
 - 芸能の部 32団体 482人
 - ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館
- ③ 創年式の開催
 - 60歳を迎えた方が集い、人生の節目を共に喜び合い、地域への連帯感を確認しながら人生の再出発を祝う。
 - ・ 開催日 平成27年10月25日(日) 対象者：384人 参加者：84人
 - ・ 内 容 式典、各種相談コーナー
(健康相談・ボランティア・生涯学習啓発)
 - ・ 講演会 竹内章 氏「かかりつけ歯科医が あなたの寿命を決める!？」
 - ・ 開催場所 蟹江中央公民館分館

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第2部を「生涯学習文化交流会」として、沖縄県読谷村との交流会を開催した。昨年度に比べて入場者は減少したが、文化交流の場ができたことは非常に良い機会になったと思われる。日曜日に開催日を変更した8年目にあたり、集客力のある事業選定が必要不可欠である。

また、今年で8回目の創年式を開催した。対象者から見ると出席率が平成20年度が31%、平成21年度が21%、平成22年度は27%、平成23年度は16%、平成24年度は10%、平成25・26年度8%と低いのが課題である。今年度は、健康推進課と共に6024歯科事業を行い、講師を歯科医師会から紹介していただき、健康に関する講演を行った。健康についての講演を行ったこと、対象者以外の一般に呼びかけたことから参加者数は22%と微増したが、事業方針に再度検討を必要とする。

3 歴史民俗係

(1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

- ① 開館日数 299日
- ② 入館者数 10,930人(348人)
- ③ 1日当たり 36.6人

〔点検・評価〕

平成27年度は、全体の入館者数が26年度に比べて若干減少したが、これは中央公民館分館（産業文化会館）の改修工事により駐車場や入場口の制限等があった影響によるものと考えられる。今後、より来館者数を増加させるためには、施設の整備とともに、より充実した内容の展示や講座を実施していく必要がある。

(2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 4,184点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料等を購入した。

小酒井不木掛軸 1点

黒川巳喜 俳画 1点

佐藤高越 掛軸 1点

森本三鎧 掛軸 1点

③ 資料の寄贈・寄託

町内外の方から関連資料27点の寄贈を受けた。

〔点検・評価〕

平成27年度においては、購入資料4点、寄贈資料27点、合計31点の資料を収蔵した。

購入資料については、町民の方の理解を得るため、定期的に公開をしている。資料の寄贈・寄託については、持ち主の方から資料館の役割についての理解と信頼をいただいてこそのことである。期待に沿えるような活動を行っていかなくてはならない。

一方、資料の数は年々増加し、既存施設では収容力不足となりつつあり、新たな収蔵施設の充実を図る必要があると思われる。また、収蔵資料情報や、周辺の画像資料などもデジタルデータとして保管していく必要があり、資料保存のための周辺機器や設備を整備する必要がある。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じて、テーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行い、さらに購入した郷土文化資料や新たな寄贈資料を加えるなどし、常設展示の充実を図った。

② 企画・特別展示

町の歴史・民俗関連の企画展・特別展を実施した。

ア 特別展

- ・ 「郷土ゆかりの文化人たち」
展示場所 企画展示室
展示期間 平成27年10月31日～11月29日 来館者数 840人
- ・ 「広告看板の世界」
展示場所 企画展示室
展示期間 平成28年2月6日～3月13日 来館者数 2,544人

イ 企画展

- ・ 「須成祭パネル展」
展示場所 ロビー展示
展示期間 平成27年7月11日～8月16日
- ・ 「エコきつず調査隊成果発表展」
展示場所 ロビー展示
展示期間 平成27年8月25日～9月6日
- ・ 「蟹江町想いでの写真展」
展示場所 ロビー展示
展示期間 平成27年10月20日～11月1日
- ・ ミニ企画展「ちいさなひな人形」
展示場所 民俗展示室
展示期間 平成28年2月6日～3月13日

〔点検・評価〕

展示活動は、資料館が資料収集した資料等を調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望める資料館の重要な事業の一つである。

平成27年度の特別展においては、「郷土ゆかりの文化人」として、購入や寄贈により近年収蔵した郷土のゆかりの文化人の関連資料を中心に展示公開した

「広告看板の世界」では、まちなみや人々のくらしの歴史の一端を知っていただく資料として、明治から昭和にかけての広告看板を中心に展示した。特に「広告看板の世界」では、多数の方に見学していただき、反響があった。

特別展や企画展を開催することで、新たな収蔵資料の公開や、調査・研究の成果の公表ができた。特別展等をきっかけに、来館者の方から関連情報や資料の提供をいただくこともある。今後も継続的に実施して資料館活動を充実させていくべきである。

(4) 調査・研究

- ① 資料館関連資料についての調査・研究
展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。
- ② その他調査
愛知県史編纂等に伴う調査への協力等を、依頼に応じて随時行った。

[点検・評価]

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには、関係各位の協力が不可欠であり、地域との連携が重要になってくるであろう。

(5) 情報提供

- ① 各種印刷物等の発行
歴史民俗資料館年報第36号出版
歴史民俗資料館児童用パンフレット刷新
- ② 関連機関発行の印刷物等への情報提供
新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

[点検・評価]

歴史民俗資料館年報第36号については、教育委員会及び県立図書館などに寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行い、資料を持ち帰って学習したいという来館者のニーズに対応している。また、近年、報道機関等からの情報提供の依頼も増加しており、速やかに対応できるよう、データベースを整備しておくことも重要になってきている。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	中央公民館分館ほか		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	8回	30人	22人
「かにえ地域学」講座	8回	20人	16人
環境学習 エコきつず調査隊	5回	20人	8人
郷土体験学習会	5回	25人	5回計46人
文化財研修会	1回	80人	50人

② 出前授業

小中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

開催日	学校名	内容
平成27年5月12日	新蟹江小学校	昔の道具について
平成27年5月19日	新蟹江小学校	盛んだった漁業について
平成27年6月16日	新蟹江小学校	蟹江の祭りについて
平成27年6月23日	新蟹江小学校	蟹江の郷土食について
平成27年7月7日	蟹江小学校	須成祭について

[点検・評価]

地域の歴史や民俗に関する各種講座を実施した。「古文書を読む会」では、資料館で収蔵した古文書資料について、講師による読み方等の丁寧な解説を行うことで、以前よりも出席率が高まった。平成26年度から実施している「かにえ地域学」講座も現地学習を中心とした内容が好評で会員が増加している。

その一方で、小学生対象の講座では参加者数が減少傾向にある。少子化による影響もあるが、今後、もっと参加しやすいような内容や日程を設定するよう検討しなくてはならない。

出前授業の実施数は、ほぼ横ばいであった。子どもたちの郷土学習への関心を高めることができるよう継続して実施していきたい。

4 文化財保護係

(1) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護にかかる経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、過去から未来に保存・伝承し、活用を図る等、人的・物的支援を実施した。

また、平成28年度に実施予定の国庫補助の準備のため、専門家にご指導いただいた。

補助事業数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め7事業

補助団体件数：須成文化財保護委員会始め23件

町費補助額：5,250,000円 国庫補助事業指導：5回

(2) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりにあわせて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子等をまつり会場にて出展公開した。

公開期日 平成27年10月11日(日)

協力町内会 須成、蟹江新町、今、源氏才勝、西大海用、本町分、舟入

(3) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像と富吉建速神社・八劔社本殿の公開を毎月18日に行ったほか、事前申し込みにより随時公開を行った。

(4) 文化財普及・啓発事業

重要無形民俗文化財に指定された須成祭が、ユネスコ無形文化遺産候補の33の祭りの一つに選ばれていることから、県内の関係市町や町内の関係機関と協力をしながら、関連の研修や啓発活動を実施した。

〔点検・評価〕

補助事業については、指定文化財だけでなく、郷土芸能伝承団体とも密に連絡をとりながら行い、適正な補助金交付に努めるとともに団体の活動を見守っていくことが重要である。

文化財出展公開では、町民まつり会場において神楽や須成祭囃子を披露することで、郷土芸能の伝承活動の活性化につながるとともに、多くの方へ地域の芸能について情報発信をすることができた。

文化財公開に際しては、歴史文化ボランティアの人材を活用することにより文化財に対する理解などを深める効果があった。

文化財普及・啓発事業については、須成祭がユネスコの無形文化遺産候補となったことから、祭りへの関心が高まりつつある。祭りの内容や無形文化遺産としての価値についての理解を深めるとともに、祭り来場者の増加への対応についても関係部署と連携して取り組んでいく必要がある。登録の可否の決定は平成28年秋だとされ、登録決定後の対応も計画的に進めていかななくてはならない。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

① 各種スポーツ教室

町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
ヨガ教室	5回	50人	36人	蟹江中央公民館分館
合気道教室	4回	15人	12人	蟹江中学校武道場

〔点検・評価〕

講座・教室の参加応募について、ヨガ教室は曜日、会場を変更したため、定員を減少し開催した。ノルディックウォーキング教室は、4年目の開催講座であるが、参加者数が最小催行人数を下回ったため開催を見送った。また、27年度より新規講座として合気道教室を開催した。今後、時期・時間帯等を検討し、住民ニーズの把握に努め、参加者が参加しやすい講座・教室を開催していく。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民がスポーツ及びレクリエーション活動をすることにより、体力の維持・向上を目指しスポーツ推進委員、地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

① スポーツ推進委員 任期 平成26年・27年度 18人

② 地区スポーツ協力員 任期 平成27年・28年度 42人

③ 各種講習会

・ 指導者研修会

ニュースポーツフェスティバル開催に向け、スポーツ推進委員及び地区スポーツ協力員に対し、指導・普及を目的として講習会を開催した。

【種目】 体力テスト、ドッジボール、キンボール、カローリング、スナッグゴルフ

・ スポーツ推進委員各種研修会

【種目】 体力づくり運動、スナッグゴルフ

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が、各種研修会へ積極的に参加しスポーツ推進委員の資質向上を目指す。また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康を図るため、生涯スポーツを推進し、その手段の一つとしてニュースポーツを通じて、町民の運動への関心を高めることが重要であり、スポーツ推進委員を中心として、地区スポーツ協力員と連携し各種教室・大会を開催した。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

平成26年10月29日にNPO法人を取得

・ 役員 理事 6人 監事 1人

・ 会員数 481人

・ 講座数 常時 20講座 特別短期 6講座

・イベント 6回 (バスハイキング(浜松市、伊勢神宮等散策))
スポーツ塾体験等

・交付金等 交付金 2,000,000円

② 蟹江町体育協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し、指導・育成する。

・15団体 1,226人 補助金 2,371,200円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団の活動に対し、指導・育成する。

・14単位団 団員488人 指導者121人 補助金635,550円

[点検・評価]

スポーツ関係者の理解・協力を得て、設立準備委員会、運営委員会を重ねた結果、海部地区で2番目となる総合型地域スポーツクラブ「活き生きかにえスポーツクラブ」が設立され、6年目となった。前年度と比較すると、会員数が減少したが収益は上がっているため順調に運営されている。なお、平成26年10月29日に法人格を取得した。

体育協会・スポーツ少年団は自主運営がなされているが、会員・団員の増員を図ることや、庶務等の生涯学習課からの事務移譲が課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① 第11回ニュースポーツフェスティバル(民生部健康推進課共催事業)

気軽に楽しめるニュースポーツを通して、明るい町民生活に寄与することを目的として開催する。また、体力テストの実施により健康維持増進に役立てる。

・実施日 平成27年9月6日(日) 参加者数 147人

・開催場所 蟹江中央公民館、蟹江町体育館

② 第35回蟹江町みんなで走ろう会

みんなで走ることにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深めることを目的として開催する。日光川ウォーターパークを発着点として、3km及びジョギングの2部門を実施した。

・実施日 平成27年12月13日(日) 参加者数 478人

・開催場所 日光川ウォーターパーク周辺

③ 第36回蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催する。平成27年度より蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部である5人1組で約7.5kmを走る部門及び小学生以外の部の5人1組で13kmを走る部門の2部制で実施した。

- ・実施日 平成28年1月24日(日) 参加チーム 127チーム
- ・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺

④ みんなで歩こう会(年2回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・実施日 平成27年6月7日(日)開催場所 滋賀県彦根市 参加者70人
- ・実施日 平成27年11月1日(日)開催場所 岐阜県郡上八幡 参加者80人

⑤ 愛知万博メモリアル第10回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・実施日 平成27年12月5日(土) 開催場所 愛・地球博記念公園
- ・内 容 小学生の部から40歳以上の部まで男女9名による継走
- ・出場者 一般公募により選手選考を経て選手決定
- ・成 績 町村の部 16町村中5位

〔点検・評価〕

昨今の健康志向により、豊かな自然や町並み散策を兼ねたジョギング、ウォーキングなどへの参加者は年々多くなってきている。蟹江町駅伝大会は、平成27年度より会場を新蟹江小学校周辺から希望の丘広場周辺に変更した。ニュースポーツフェスティバルは、前年度より参加者が増えたが、より多くの住民が参加したいと思うイベントにしていきたい。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者 3人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会等に選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者 3人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町体育協会等の実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。 年1回 4月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合、表彰、奨励金を支給することにより今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

(1) 女性対策

女性教育研修会

蟹江町婦人会代表者研修

- ・ 社会教育活動を推進するため、地域活動の担い手に対して社会教育活動を企画実施するうえで必要な知識や技術の習得と、市町村を超えた情報交換の機会を設け、地域及び県域で活躍でき、社会教育を担っていく指導者としての資質向上を図ることに役立てる。

〔点検・評価〕

国・県主催による女性の地位向上に向けた研修事業等に参加し、男女共同参画に関わる学習事業を企画する必要がある。女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、女性教育指導者としての資質向上を図る研修事業等に参加を求めていく。

7 施設係

(1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

① 中央公民館分館の施設老朽化に伴う改修を実施した。

- ・ 中央公民館分館 外壁及び屋上防水改修等工事 45,500,400円
同設計監理 1,820,016円

② 蟹江町希望の丘フットサルコート of 整備を行った。

- ・ 蟹江町希望の丘広場フットサルコート整備工事 42,660,000円
同設計管理 1,535,760円

③ 生涯学習施設をPRし、使用方法等を周知し、更に一層の利用促進を図った。

④ 学校体育施設を町民の健康増進及びスポーツ振興を図るため、町内小・中学校の屋外・屋内体育施設を町民に開放した。

〔点検・評価〕

グラウンド、テニスコートの有料化も定着してきた。総合型地域スポーツクラブが発足し、今までの体育協会等の既存利用者の利用既得権が強いことから、「生き生きかにえスポーツクラブ」の活動場所の確保が困難であったが、体育施設の有効かつ効果的な利用を推進するために、利用頻度の少ない施設の活用及び連絡調整に努めた。

蟹江町希望の丘広場を4月に供用開始した。また、フットサルコートを整備を終え10月から供用開始した。バーベキュー広場等、幅広く多くの方に使用されるようになった。

施設の老朽化にともない、平成27年度は蟹江中央公民館分館の外壁及び屋上防水改修等工事を実施し、安全面と利用者の利便性を向上させることができた。生涯学習施設は全般的に老朽化が進んでおり、施設の改修が必要である。今後、改修計画等を立案し、それに従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。